

WAKO エア-コンプレッサー WS-25A

取扱説明書

この度は、弊社「コンプレッサー WS-25A」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読み下さい。

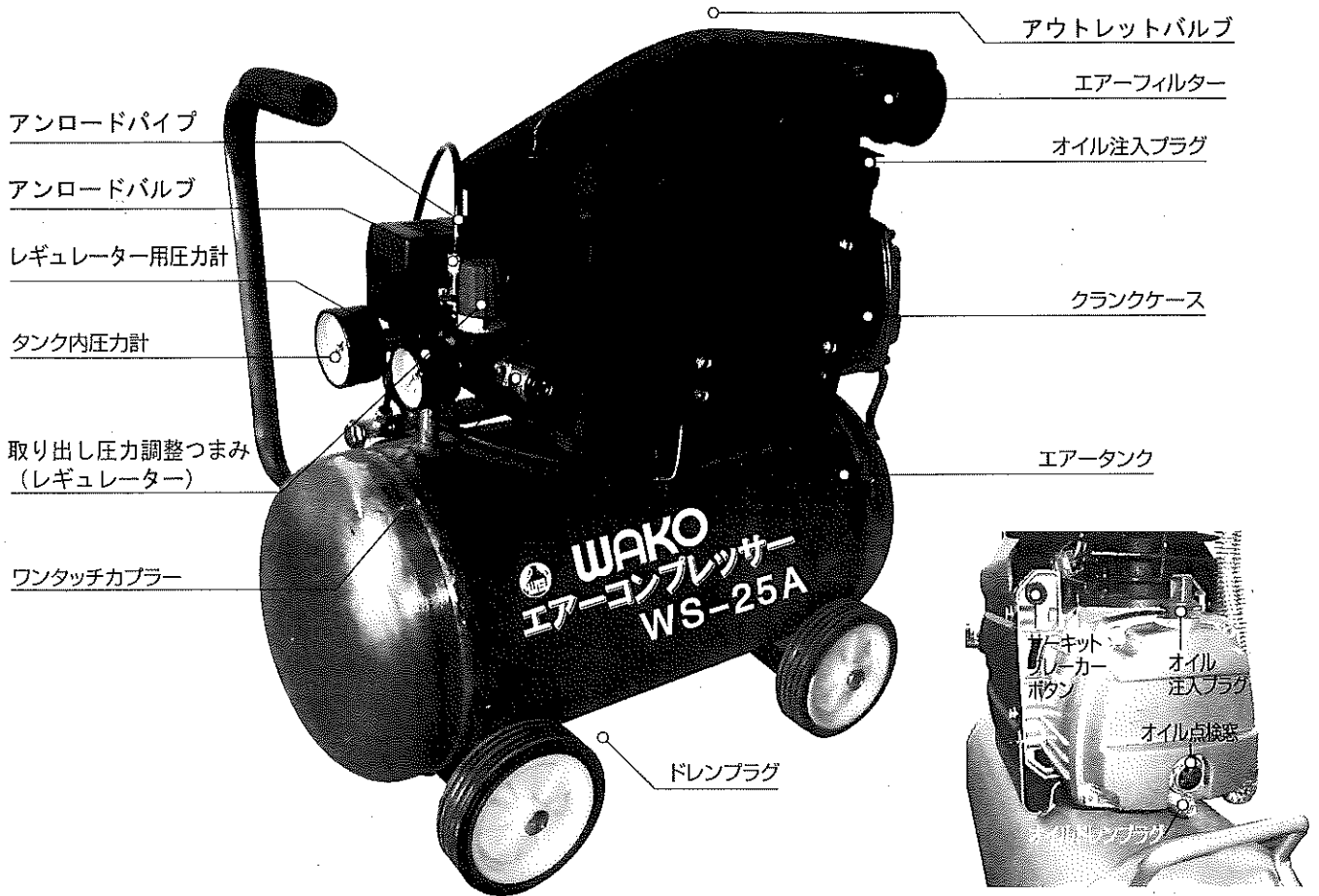


仕様

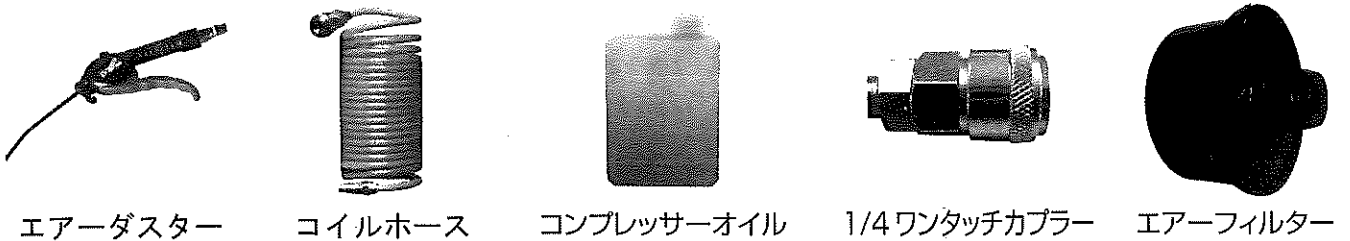
電源	100V 50/60Hz	最高使用圧力	0.78Mpa(8kgf/cm ²)
電流	9.8A/10.5A	再起動圧力	0.59Mpa(6kgf/cm ²)
消費電力	900W/1,100W	圧力調整範囲	0~0.78Mpa(0~8kgf/cm ²)
電動機出力	1.5HP	安全弁設定圧力	0.86Mpa(8.8kgf/cm ²)
タンク容量	25L	本体寸法	約540x300x595mm 26kg
回転数	2,800/3,400min ⁻¹ (回/分)	空気接続口	1/4ワンタッチカプラー
吐出量	114L/min/124L/min	コード長	約2m

※商品改良の為、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

各部の名称



付属品



エアーダスター

コイルホース

コンプレッサーオイル

1/4ワンタッチカブラー

エアーフィルター

用途・特長

- ①各種作業に応じたエアー工具をお使いいただけますと、1台で様々な作業が可能です。
- ②本製品は、一般家庭用100V交流電源を用いて、高出力のモーターに接続されたクランクシャフトの回転によってシリンダー内のピストンが上下することによって圧縮空気を生み出します。
- ③レギュレーター（圧力調整器）によって、使用時の空気圧を0～0.78Mpa (8kgf/cm²) の範囲で調整可能です。
- ④～オート圧力スイッチについて～
エアータンク圧が上限の0.78Mpa (8kgf/cm²) に達すると、オート圧力スイッチが作動してモーターを自動停止させて、それ以上の危険な圧力上昇を防止します。
また、タンク内の空気を消費して、圧力が0.59Mpa (6kgf/cm²) まで下がるとオート圧力スイッチが作動してモーターが再起動して圧縮空気を再蓄積します。
- ⑤空気取り出し口には、ワンタッチカブラーが装備されておりますので、エアーホース・エアー工具の取り付けが楽に行えます。

準備

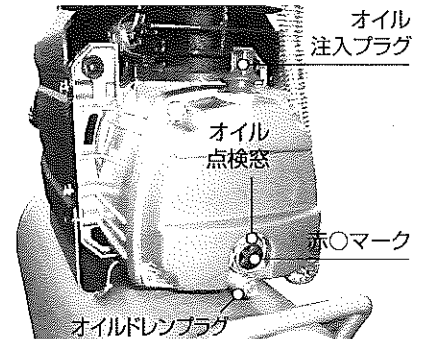
① オイル量をオイル点検窓で確認し、不十分な場合はオイルを注入して下さい。

ポイント 初めての本機をご使用になる場合は必ず給油を行って下さい。
メーカー出荷時のテスト用のオイルがクランクケース内に残っていますが、十分な量ではありません。

警告 オイル量が少ないまま作動させますと焼きつきの原因となります。

安全に調子よくご使用頂くため、オイル交換は定期的に行って下さい。

- ・オイル交換時期:初回は100時間を目安とし、次回からは6ヶ月または250時間毎を目安として全量交換して下さい。
- ・オイルの注入には:オイル注入プラグを外し、その穴からオイルを注入して下さい。
- ・オイルを抜くには:オールドレンプラグを外して、オイルを抜いて下さい。
- ・オイルの注入量:オイル点検窓の赤○マークの位置まで注入して下さい。
※オイルは入れ過ぎるとオイル漏れの原因になります。適量を入れて下さい。
- ・オイルについて:付属のオイルまたは市販のコンプレッサー用オイルをご使用下さい。



② 付属のエアフィルターを取り付けて下さい。

③ 作動前にモーター部、クランクケース、カバー、タイヤ、エアフィルター、スイッチ部などの取り付けネジに緩みがないかご確認下さい。また、圧縮空気が通る配管の接続部分に緩みがないかご確認下さい。

ネジの緩みは異常音・異常振動の原因になります。
配管の接続部分の緩みは空気漏れ・圧力が上昇しない原因になります。

④ 設置場所は平らな堅い床面で、風通しが良く、湿気やほこりが少ない場所で、壁から30cm以上離して設置して下さい。

本機は空冷式ですので、放熱を妨げる覆いを被せて作動させないで下さい。高温・直射日光が当たる場所では長時間使用しないで下さい。運転中も周囲の温度が40°以上にならないよう注意して下さい。

警告 雨中や水に濡れる場所での使用は禁止です。感電する恐れがあります。
火気が禁じられた場所での使用は禁止です。

⑤ 電源プラグは直接コンセントに接続して下さい。 作動スイッチを「切 (OFF)」の状態に接続して下さい。

ポイント 正常な作動のため配線についてご注意下さい。

- ・延長コードはできるだけ使用しないで下さい。やむを得ず使用される場合は、2.0mm²以上のコードを10m以下で使用して下さい。コードを長くするとコンプレッサーまでの電圧が下がってしまい、正常に作動しない場合があります。
- ・コンセントがいくつかある場合は、電力メーターや分電盤に近いコンセントをご使用下さい。
- ・同一のコンセントで他の電動工具と本機を一緒に使用すると、電圧不足により正常に作動しない場合があります。
- ・ご使用前にアースを接地して下さい。

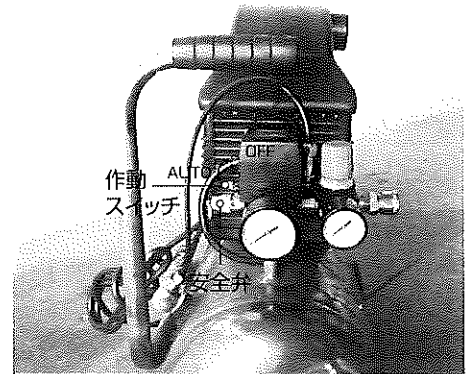
作 動

①まず、カプラーにエアース・エア工具を取り付けて下さい。

②作動スイッチを「自動 (AUTO)」にすると、モーターが始動し、エアータンク内に空気を貯蔵します。

ポイント 「自動 (AUTO)」スイッチについて。

- ・タンク内の圧力が約0.78Mpa (8kgf/cm²)になると、オート圧力スイッチの働きによりモーターが停止します。タンク内の空気を消費し、タンク内の圧力が約0.59Mpa (6kgf/cm²)まで下がると、再びモーターが始動し空気を貯めはじめ、自動でON-OFFを繰り返します。
- ・安全弁は約0.86Mpa (8.8kgf/cm²)で作動するよう調整されていますが、本機のご使用时には安全弁を引いて空気の放出の確認を行って下さい。
- ・安全弁のリングを引っ張るとエアータンク内の空気が放出され、リングを離すとしばらくしてから放出が止まります。



警告

安全弁から吹き出す空気は勢いが強いので、顔や体に当たらないように吹き出し方向に注意して下さい。

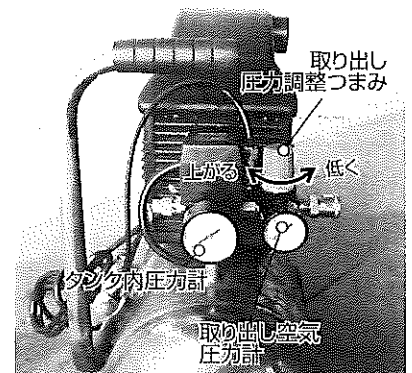


警告

作動中や作動直後のモーターや配管部分は高温になっておりますので、触れないで下さい。火傷の恐れがあります。

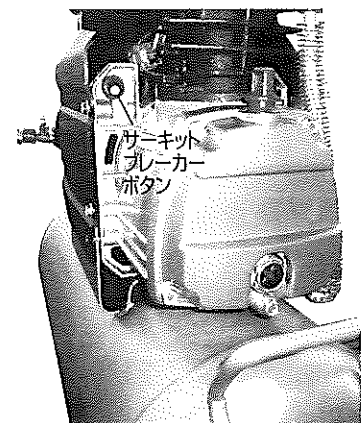
③使用するエア工具に合わせて空気の取り出し圧力を調整して下さい。

- ・取り出し圧力調整つまみを時計方向に回すと圧力は上がり、反時計方向に回すと圧力は低くなります。
- ・圧力調整つまみの下のリングは回り止めです。圧力調整後に、反時計方向に回して圧力調整つまみを固定して下さい。
- ・取り出し空気圧力はタンク内圧力より高い設定はできません。
- ・本機には圧力計が2つ付いております。1つはタンクに貯蔵されている空気の圧力を表示しており、もう1つは取り出す空気の圧力を表示しています。



ポイント モーター保護装置 (サーキットブレーカー) について。

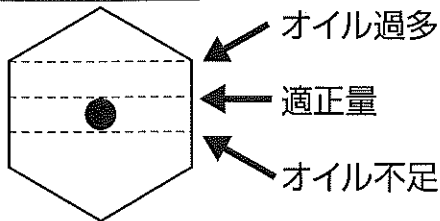
- ・エアフィルターの下にサーキットブレーカーボタンがあります。これは、電圧降下が大きかったり、モーターが異常に加熱した場合、モーター保護のためブレーカーボタンが飛び出てモーターを停止させます。
- ・モーターが停止した場合、作動スイッチを「切 (OFF)」にして電源コードをコンセントより抜いて下さい。この場合、電圧降下の原因として延長コードが長すぎたり、細すぎたりしていないか、また同一のコンセントで他の電動工具を使っていないかを確認下さい。
- ・再起動は、約15~20分経過後モーターの温度が冷えてからブレーカーボタンを押して、電源コードをコンセントに接続し、作動スイッチを入れて下さい。
- ・何回もサーキットブレーカーが飛び出す状態が続きますとモーターが焼損する恐れがあります。



⚠ 注意

始動前に必ずオイル量をご確認ください。
不十分な場合はオイルを注入してください。
オイル量が少ないまま作動させますと、焼きつきの原因となります。

オイル点検窓



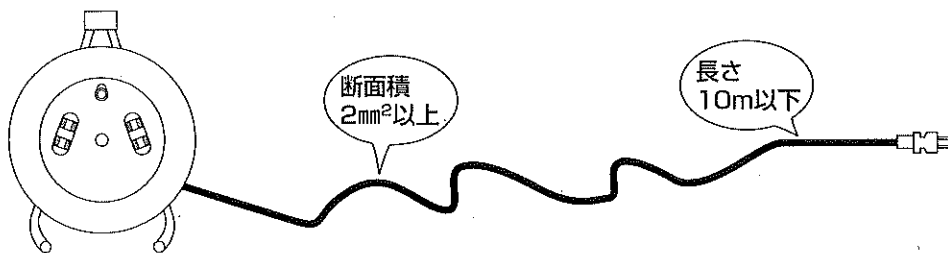
- 1.初めて本機をご使用になる場合は、必ず給油を行ってください。メーカー出荷時にオイルは少量入っておりますが、十分な量ではありません。
- 2.初回は100時間を目安とし、次回からは6ヶ月または250時間毎を目安として全量交換してください。

※気温が低い季節にオイルを給油する時は、少しずつゆっくり行なってください。オイルが硬くなっており、入れ過ぎる恐れがあります。オイルを入れ過ぎますとシリンダー部等よりオイルが漏れることがあります。

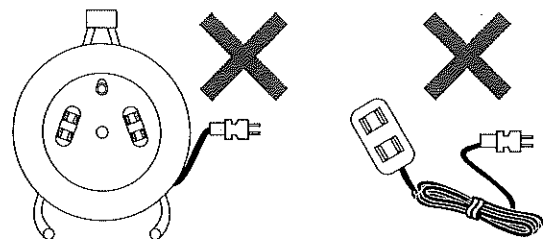
電源はコンセントより直接お取りください。
やむを得ず延長コードを使用する場合は、本体の電源コードと同じ太さ（断面積が 2mm^2 ）かそれ以上のコードで、長さは10m以下で
ご使用ください。

電圧降下によりモーターが起動しなかったり、再起動しない原因は以下の通りです。

- 1.延長コードが長すぎたり、細すぎる場合。



- 2.巻き取った状態、束ねた状態で使用した場合。
コードリールのコードを伸ばさず使用した場合。
※コードは必ず伸ばしてご使用ください。



- 3.同一コンセントを他の電気機器と一緒に使用した場合。